



小・中学部の進路学習



3学期がスタートし、各学年のまとめの時期に入りました。この時期は学年の振り返りをするとともに、来年度、どんな力を身に付けたいか、さらに将来に向けてどんな力が必要か、そのためには何をしたら良いか考える良い機会だと思います。

今回は、小・中学部で取り組んでいる、進路学習について紹介します。各ご家庭で子どもたちの進路について考える参考にさせていただければ幸いです。

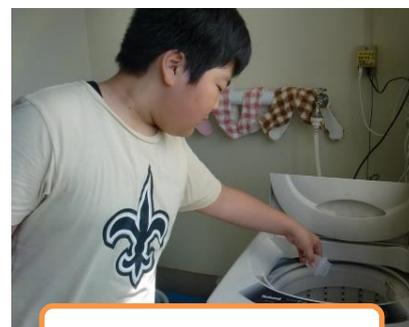
小学部の取り組み



小学部では生活する力・働く力の素地を育てることを目指し、一人一人の発達段階に合わせた課題に取り組んでいます。元気な挨拶や返事をする、着替えや食事、清掃等一人で行えることを増やすこと、決まりを守る、友達と一緒に活動すること、物事に最後まで取り組むことなど、学習活動全般を通じて指導しています。



掃除の学習



洗濯の学習

また、学級での係活動や当番などの他、全員で行う委員会活動を通じて「みんなのために働く」体験をしています。日々の活動を通して、誰かの役に立つことの達成感を得たり、認められる喜びを感じたりすることが、将来の生きる力につながるように意識して指導をしています。家庭でも、お手伝いを通して働く力を育てることができます。おうち時間が多くなっている昨今、簡単なことからでいいので、お手伝いに挑戦させてみてはいかがでしょうか？



靴棚の掃除



ストロー配り



トイレトーパーの補充

中学部の取り組み



中学部の進路学習では、1年生から段階的に、自分や友達の得意なことや中学部卒業後に必要な力について知る学習を取り入れています。

中学部になると、作業学習が始まります。作業学習では、物作りやリサイクルなどの作業を通して、長時間働く経験をしたり、働く上で必要とされるマナーや態度について知ったりして将来の職業生活の基礎となる力を養います。初めは長い時間集中して作業をすることが難しかった1年生も、次第に集中して作業できる時間が増えたり、できる作業が増えたりすることで、働く楽しさを感じるようになります。

3年生になると、高等部への進学を見据え、高等部の校内実習や授業の様子を見学します。今年度は、1月に高等部の学習内容や生活の様子についてスライドを見たあと、作業学習を体験しました。見学・体験後は、「新聞紙をシュレッダーにかける仕事を頑張った」「受験で合格できるように頑張りたい」「緊張したけどおもしろかった」「先輩の教えてくれたことを忘れずに、来年の作業に生かしたい」等の感想が聞かれました。高等部の生活について知り、上級生の格好良さを感じたことで、高等部進学への期待感が高まりました。

このように、中学部では生徒が自分のできることをさらに伸ばしたり、中学部卒業後の生活に期待感をもって学習に取り組んだりしていけるよう、進路学習を進めています。

<高等部見学・体験の様子>

